



センター実施の基本研修受講者の感想を紹介します!!

令和6年度の基本研修としてセンターでは初任者研修講座、1年経験者研修講座（県立学校）、4年経験者研修講座（5年経験者含む）、中堅教諭等資質向上研修講座、20年経験者研修講座を実施しています。今号では、これまでに開催された研修講座における受講者からの感想をご紹介します。令和6年度も下半期に突入しています。センターとしても基本研修を受講する皆様にとって今年度の研修がより良い研修となるよう努めて参ります。

開発期（教職経験5年まで）の基本研修

初任者研修

知識・技能の習得や組織の一員としての意識を高めます。

○柔軟に対応していける教員になるためには、常に学び続けるべきだと思いました。変動する社会に生徒を送り出していく立場としても、その役割の重要性を実感しました。

○傾聴することは、子どもが安心して話してくれる、信頼してくれることに繋がると学びました。今後、子どもの話をよく聴き、寄り添った支援をしていきたいです。

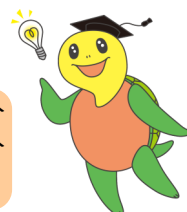


1年経験者研修

知識・技能の習得や実践的指導力の向上を目指します。

○初任研で身に付けたものに加えて、この1年間でさらに教員として成長できるような取組を行わなければいけないことを再認識しました。

○今回の訪問サポート研修で同期の授業を見て自分にとっての新たな発見や、参考にしたいと思える部分がたくさんあり、いい刺激をもらえた一日でした。



4年経験者研修

開発期を振り返るとともに充実期への意識を高めます。

○区切りと変化の年であり、研修を通して振り返ることができました。さらに今後の充実期へ向けた研修観や同僚性、学び続ける姿勢などを再確認させてもらいました。

○組織としての視点を持って職務に励まなければいけないと思いました。目の前の仕事がたくさんありますが「振り返り」をする時間を意識してとれるよう努力していきたいです。



充実期（教職経験5年～20年）の基本研修

中堅教諭等資質向上研修

学校運営の中核的な存在になることを目指します。

○学校教育目標の実現を意識しながら、組織的に授業改善に取り組んでいきたいと思えます。個人ではなく、チームで取り組むことを提案していきます。

○中堅教諭としての自覚が高まりました。一年間の研修を積み重ね、学校運営や子どもたちの指導に生かしていきたいです。



発展期（教職経験約20年以上）の基本研修

20年経験者研修

学校を動かし、支え、発展させることを目指します。

○20年経験者は発展期として、学校の中核を担うのはもちろん、他の教員の模範となり、リーダーシップを発揮し、学校を動かし、支え、発展させる立場であることを知ることができました。他の教員の模範になる態度を取っているのか、リーダーシップを発揮しているのか、この2点を考えながら行動していきたいです。

○発展期の内容を確認し、自分がどれだけできているかを振り返りました。自分の経験を踏まえ、児童・生徒の学習をより充実させるための心構えや考え方を、経験の浅い教員等の同僚と積極的に共有し、授業や学校行事などをより深めて充実したものとしていけるよう行動していきたいです。



教育図書室 教育資料を探すには…

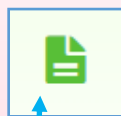
センターだより70号では、総合教育センター教育図書室の図書検索システムを紹介しました。今回は、このシステムを使った教育資料の探し方について紹介します。

教育図書室では、教育に関する図書のほか、雑誌や研究紀要、行政資料などを収集・整理し、皆さまに提供しています。現在、蔵書データとして、タイトルや著者のみならず、目次情報、雑誌の特集記事タイトルなどの情報の入力・整備を進めています。図書検索システムを活用することで、目的の資料だけではなく、関連する資料や見逃しがちな資料も併せてチェックすることができます。

【文献データに直接アクセスする方法】

蔵書検索をすると、右のような「リンクのアイコン(※)」が表示されているものがあります。これは、文献に直接アクセスすることができるリンク先が表示されていることを表すものです。発行者からリンクアドレスが寄せられた資料のページにリンク情報を掲載しています。今後もできるだけリンク付けしていきますので、ご活用ください。
(お願い) リンク切れなどを見つけた際には、教育図書室にご連絡ください。

図書検索システムにはこちらからアクセスできます



※リンクのアイコン

1. 滋賀大学教育学部紀要 第72号 2022

【著者名】 滋賀大学教育学部 【編】 【出版者】 滋賀大学教育学部

【リンク】
滋賀大学教育学部紀要

「書誌詳細」ページの画面最下部にある「リンク」と表示されている資料名をクリックすると、発行元のデータにアクセスできます。

◆当室で数多く所蔵する教育学部系大学・学会の紀要類は、最近の傾向として、紙媒体での刊行を止め、Web版に移行されています。このような場合は、カウンターで入手方法などを調査いたしますので、ご相談ください。

研究のための情報を得るのに役立つサイト

国立国会図書館サーチ

国立国会図書館の利用者登録(本登録)をすることによって、国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を著作権の保護期間満了前であっても、閲覧できます。また、直接本文が閲覧できないものでも、目次情報などで必要なページを特定すればコピーサービス(有料)により、取り寄せることができます。

J-STAGE

大学・学会関係の論文の閲覧ができます。検索結果に表示される抄録で論文の概要が分かります。一部の論文は、本文まで読めるものがあります。

これらのサイトを利用するには、検索サイトで「国立国会図書館サーチ」「J-STAGE」「大学名+リポジトリ」などで検索してください。

大学のリポジトリ

J-STAGEに登録されていない論文を探すには、執筆者の所属する大学のリポジトリを検索すると見つかることがあります。リポジトリは、各大学の図書館のホームページから利用できます。Web版に移行した大学紀要類の蔵書データへのリンク付けを進めています。

総教C「連続センターだより小説」

亀に翼

情熱あふれる教師たちの物語
第4話 ～子どもの話を聴くということ～

寅子先生のアドバイスやセンターの教員相談を利用して、チーム支援を行い、子ども理解を深めたグッタ先生。気付けば、教師4年目…

今日も一日、頑張るぞ～!

オカゲさんのおかげ!



グッタ先生

①

そんなある日、今年度から1学年の担任をしているウサ子先生から話しかけられ…

グッタ先生!学校に来られなくなってしまった子どもがいて…友だち関係や授業態度に変わった様子もなかったのもう、どうしたらいいかわからなくて困っています。

ウサ子先生
プロフィール
・新採用2年目
・今年度より初担任



②

ウサ子先生の気持ち、よくわかります。ただ、子どもの困りは友だち関係や授業のことだけでしょうか。そもそも、来られなくなってしまったきっかけは、本人にもわからない場合もあります。

どう、言葉をかけたらいいの…



③

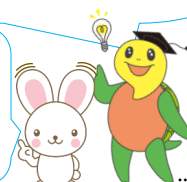
④

まずは子どもの語りに耳を傾けてみてはどうでしょうか。子どもの語りの背景にある気持ちを理解しながら対話をする中で、子ども理解や支援のヒントが見えてくるかもしれません。急がば回れ、焦らずいきましょう。

生徒の自己理解を促す共感的な対話

参考になるのがコレ!

まずは子どもの話を聴いてみます!



…つづく